

あとかき

## 今、医学がおもしろい

毎日、朝から晩までストーリーの異なる患者様が訪れて下さることは、臨床医にとって何よりも光栄で嬉しいものです。疲れていながらも、一人一人訪れて下さった患者様と挨拶するたびに、私には元気が戻ってきます。「やあ、待たせてすみません」、「やあ、今日も来て下さってありがとう」、「やあ、気になって待っていましたよ」、「2～3日前からどうしているのかと思っていましたよ」、「具合はどうかと思って、電話をさしあげなきゃと思っていたところ」。

開業当初、1つの診察室に動かない方式で数年間続けたら、脂肪肝になってしまったのです。今は、忙しい診療中の運動不足を解消するために、3つの診察室を使用しています。自分から移動して、そしてお辞儀して挨拶するのです。志しを同じくする多くのドクターや看護師さん、医療スタッフや業務スタッフの方々の協力を得て、たくさんの患者様を気持ちよく迎えてあげられています。訪れる患者様にも、来院した楽しみを提供します。病気への苦しみと恐怖を少しでもなくすように努力しています。

私は、昭和大学藤が丘病院内科レジデントを経て、小児科、放射線科も研修しました。その後呼吸器内科教室（野口英世教授）に入局しましたが、私を昭和大学藤が丘病院に導いて下さったのは、恩師、飯野史郎教授でありました。

昭和大学藤が丘病院の内科レジデントとして研修し、すべての臓器別内科に専門的（セミ専門）に対応でき、そして各地で行う各科の研究会に積極的に参加して得られた知識を総合的に消化し、患者様を診るたびに、新しい見地から診療アイデアを浮かばせて、明日への診療にとっても役立っています。今、臨床医として医学がとてもおもしろいと感じています。

また、優れた先生方と知り合って、診断の難しい患者様はそちらへ紹介します。私は「意見をもって紹介する」ことを方針としています。患者様にとって自分が総合診療臨床医であり、総合主治医として対応します。患者様の紹介後の経過、手術した後の管理も相談を受け、これから患者様が「健康で幸福な人生」を送れるように指導して健康管理していくことなどが私の診療方針であります。

飯野史郎先生は私に「いつまでも学問の灯を絶やさない臨床医はすばらしい」と、私を誉め、励ましてくださいました。また、去る平成15年6月26日の飯野史郎先生のご講演「甲状腺病学外論」（於：独協医科大学越谷病院内分泌代謝・神経・血液科 犬飼敏彦主任教授）で、堅い概論ではなく、先生の長い医師人生の経験から外から見た学問について御講演していただきましたが、その中で、飯野先生の恩師でいらっしゃった“沖中重雄先生”のお言葉について話されましたことは、私にとってはとても印象的でした。「書かれた医学は過去の医学であり、眼前に悩む患者様の中に明日の医学の教科書の中身がある。」とは、まさに、学問を追及する大医学者のお言葉であり、私は強く心を打たれました。学生時代に沖中先生の診断学の教科書を勉強させて戴きましたが、沖中先生のお言葉の様に、医師は患者様から教わることばかりです。



医療法人 健身会  
理事長 周東 寛

患者様が、身をもって教えてくれた数々の教訓を、何かと次に応用できるように私は苦闘しています。そこにまた医師としての喜びを感じているのです。

医療連携のもっとも重要な点は、「意見をもった紹介」をすることです。より理想的に言えば、「診断して紹介」することだと思います。私はそれを実現させたいために、「より高度な医療設備」をもつことにしました。それが「南越谷健身会クリニック」です。院長として恩師、飯野史郎先生をお迎えしました。

25年間を医師として、患者様を医療・生活指導してきながら思っていたことですが、病気というものは凶太いものがある、一病息災でつきあえばよいのですが、どうしても治らず、ひどくてどうにもならない難病が存在しているのは事実です。

患者様と親しくなったにもかかわらず、数年たって亡くなられますと、友人を失った様な悲しい気持ちでたまらなくなります。早期ガンはもちろん、進行ガンであっても、「なおせるガン」であってほしい。その思いで高度な設備を整えた施設をつくりました。

これらの難病の発病因子はそう単純ではない様です。「何故その様な病気になるのか」、「何が影響してなったのか」、25年間も迷い続けてきました。これもか、これもか！ 思えば幼少時には父親の背中をみて、医者になる願望に「名医になってやる」と思ったことが、51歳を過ぎた今は「名医ならぬ迷医になっている」ことに気がつきました。

今の医療は分子・遺伝子レベルの研究がすばらしく進歩し、あたかもすべての病気が解明されるかの様ですが、しかしなんととっても予防が大切です。「病気になる生活環境因子」を除去する努力が重要かと思えます。これからも難病に挑戦し、出逢ったすばらしい患者様たちの命を救うために、病の発見に、病の原因となる謎を解いていく戦いをしていきます。

「Never give up!, Never ending !」

末尾になりましたが、私のこの書籍の出版にあたりまして、国立がんセンター名誉総長・東京都済生会中央病院院長 末舛恵一先生をはじめ、多く先生方より、さらなる研鑽を積んで患者様のためにがんばれとの温かい励ましのお言葉をいただきました。厚く御礼申し上げます。

#### 本書の医療情報に関わる医師

周東千鶴（医療法人健身会副理事長・大袋医院院長）  
飯野史郎（南越谷健身会クリニック院長）  
井上 健（健身会タワークリニック院長）  
野口 久（南越谷健身会クリニック副院長）  
涌田裕司（健身会放射線科医長）  
酒井敬子（健身会内科医師）  
滝沢健司（健身会内科医師）

#### 本書MR/i・MDCT・X線画像製作に関わる

##### 医療法人健身会放射線部・臨床検査技師・スタッフ

三浦数純 永山龍之介 松本浩史 永山章子 窪 華代 榎本英利  
長田弘毅 中山一夫 池田康弘 和田澄江 辻 将治 萬木紀一郎

#### 医療サービス研究室

三浦数純 志子田典幸 柴崎浩直 吉見清美 鎌田敦子 萩中則子  
塚原礼子 林 厚子  
善名 繁（統括事務長） 金子鍊三 瀬廼木 実

HP <http://www.ekivirusengendai.com>

## 参考文献

肺癌X線診断ハンドブック 1984年11月1日発行 協和企画通信

札幌医科大学第三内科教授 鈴木 明  
国立療養所松戸病院院長 松山智治 国立療養所松戸病院内科医長 西脇 裕

OVER LAY 方式 肺X線・断層画像診断法 1987年2月発行 スタジオコクピット製作

名古屋大学医学部教授 佐竹辰夫  
名古屋大学医学部第二内科 山木健市 鈴木隆二郎 高木健三 竹内医院 竹内直道

OVER LAY 方式 胸部X線読影 1987年10月発行 スタジオコクピット製作

国立がんセンター内視鏡部部長 池田茂人  
名古屋大学医学部教授 佐竹辰夫  
名古屋大学医学部第二内科 山木健市 鈴木隆二郎 高木健三

OVER LAY 方式 循環器画像診断 1988年4月発行 スタジオコクピット製作

国立循環器病センター研究所名誉所長 仁村泰治  
神戸市立中央市民病院循環器内科部長 吉川純一

OVER LAY 方式 胸の写真と読み方 1990年5月8日発行 スタジオコクピット製作

国立がんセンター内視鏡部部長 池田茂人 小野良祐 金子昌弘 江口研二 山田耕三 堀田圭一  
国立がんセンター名誉院長 市川平三郎  
国立がんセンター病院長 末舛恵一

OVER LAY 方式 図解呼吸器<鑑別診断のために> 1991年3月発行 スタジオコクピット製作

名古屋大学医学部教授 佐竹辰夫  
名古屋大学医学部講師 山木健市

体操で覚える気管支分岐 改訂版 1994年4月発行

著者 昭和大学藤が丘病院 呼吸器内科・駅ビル医院「せんげん台」院長 周東 寛  
監修 昭和大学藤が丘病院 呼吸器内科 主任教授 野口英世

メルクマニュアル 第17版日本語版 1999年12月10日発行 日経BP社

日本語版総監修 福島雅典 京都大学大学院教授

人体の正常構造と機能 2002年6月1日発行 日本医事新報社

新潟大学大学院医歯学総合研究科教授 牛木辰男  
北里大学医学部内科 小林弘祐

気管支鏡所見の読み—病理所見との対比に基づいて— 2002年7月15日発行

日本気管支学会中部支部 『気管支鏡所見の読み』編集委員会  
委員長 西村 稔 松井英介 半澤 儔 酒井秀造 坂 英雄 福嶋徹弥

## ビデオ

- ・胸部読影のエッセンス 1992年6月発行 スタジオコクピット
- ・胸部CT読影 1992年6月発行 スタジオコクピット  
国立がんセンター中央病院 内視鏡部呼吸器科医長 金子昌弘

## 製作協力

日本呼吸器内視鏡学会中部支部  
(日本気管支学会は2003.6に名称変更しました)  
「気管支鏡所見の読み」編集委員会  
編集委員長 西村 稔  
出版事務局 福嶋徹弥  
名古屋市守山区大森3-1902-1  
TEL 052-798-3033 FAX 052-798-3190

## 製作スタジオコクピット

パナソニックJ-Power 電子組版 福嶋晴子 加藤里恵  
パソコンデータ入力作業 小川裕史  
基本レイアウト 福嶋衣子 バックアップ 和田 貴 吉村 積  
イラストレーター 谷川志保美 アニメーション作画 藤川良子  
構成調整・編集 福嶋徹弥  
協力 スタジオコクピット・医療情報スタッフ  
大日本印刷株式会社中部事業部 宮崎晋樹 上野真市  
パナソニックCCソリューションズ株式会社 樋口浩也  
中部松下システム株式会社 田辺賢治  
株式会社沖中部サービス 熊谷 隆 麻中 勇

## これを知れば呼吸器の診断が楽になる

著 者 昭和大学藤が丘病院呼吸器内科 兼任講師  
医療法人健身会 理事長 医学博士 周東 寛

発 行 2004年 3月16日

発 行 医療法人健身会

発行者 周東 寛

医療法人健身会 駅ビル医院「せんげん台」・大袋医院・健身会タワークリニック  
南越谷健身会クリニック

〒343-0851 埼玉県越谷市七左町1-304-1

TEL 048-990-0777

FAX 048-990-0888

発売所 丸善株式会社 出版事業部

〒103-8245 東京都中央区日本橋2-3-10

TEL 03-3272-0521

印刷・製本 大日本印刷株式会社 中部事業部

本書の無断複写(コピー)は著作権法上で禁じられています。

落丁本・乱丁本は、発行者あてにお送り下さい。

送料発行者負担にてお取り替え致します。

なお、この本についてのお問い合わせは、発行者にお願い致します。

©医療法人健身会

ISBN 4-9901864-0-0 C3047